平成28年8月25日発行　（偶数月25日発行）

東京女子医科大学雑誌

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

■総説
感染症
(4) 性感染症（HIV，HPVなど）……橋本和法…131-137
最終講義
肺区域切除と区域解剖……大貫恭正…138-146

■報告
当院における腹腔鏡下胃切除術を施行したbody mass index 30 kg/m^{2}以上の高度肥満症例の検討……櫻井桃子・矢島和人・庾　賢・大日向玲紀・石山　哲・岩崎善毅…147-151

■原著
大腸腫瘍における腫瘍組織テロメラーゼ活性に関する検討……菊野　晃・加藤博之・小谷典弘・坂本輝彦・清水　悟・大塚洋子・山田理恵子・成高義彦・藤林真理子・渡辺伸一郎・村越隆之…152-159

■学会・研究会抄録
第82回東京女子医科大学学会総会（平成28年9月24日）……160-162

2016
Vol.86 No.4

ISSN 0040-9022
東女医大誌
J Tokyo Wom Med Univ

86巻　4号　平成28年8月

東京女子医科大学学会
SOCIETY OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY

JOURNAL OF TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY
(TOKYO JOSHI IKADAIGAKU ZASSHI)

Volume 86 Number 4
August 25, 2016
ISSN 0040-9022

Society of Tokyo Women's Medical University
8-1, Kawada-cho, Shinjuku-ku, Tokyo, 162-8666 Japan
Tel: 81-3-3353-8111 (ext. 22314) E-mail: gakkai.bi@twmu.ac.jp

Reviews

Infectious Diseases
(4) Sexually Transmitted Diseases (HIV, HPV infection)
Kazunori HASHIMOTO 131–137

Final Lecture
Segmental Anatomy and Sublobar Resection of the Lung
Takamasa ONUKI 138–146

Report

Surgical Outcomes of Laparoscopic Gastrectomy for Obese Patients with Body Mass Indices of ≥ 30 kg/m^2
Momoko SAKURAI, Kazuhito YAJIMA, Ken YUU, Ryouki OOHINATA, Satoshi ISHIYAMA, Yoshiaki IWASAKI. 147–151

Original

Tumor Tissue Telomerase Activity in Colorectal Neoplasia
Akira KIKUNO, Hiroyuki KATO, Norihiro KOTANI, Teruhiko SAKAMOTO, Satoru SHIMIZU, Hiroko OTSUKA, Rieko YAMADA, Yoshihiko NARITAKA, Mariko FUJIBAYASHI, Shin-ichiro WATANABE, Takayuki MURAKOSHI 152–159

Proceeding

The 82nd Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University (September 24, 2016) 160–162

年会費納入のお願い

会員の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます．平素より東京女子医科大学学会にお力添え賜り厚く御礼申し上げます．
次年会費納入の時期となりました．本会の一層の発展のため会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます．
ご不明な点がございましたら，下記までお問合せください．

ご請求年：平成 29 年分

ご請求額：6,000 円

但し，未納がある場合は未納額も併せてご請求させていただきます．

1. **東京女子医科大学に在籍している場合**

年末賞与が支給される場合

11 月下旬頃，賞与よりお引き落としさせていただきます旨のご案内をさせていただきます．賞与明細をご確認くださいますようお願いいたします．

年末賞与が支給されない場合

12 月中旬頃，ハガキにてお振り込みのご案内をさせていただきます．
銀行または郵便局よりお振り込みください．なお，振込手数料は自己負担とさせていただきます．

2. **東京女子医科大学に在籍していない場合**

12 月中旬頃，ハガキにてお振り込みのご案内をさせていただきます．
銀行または郵便局よりお振り込みください．なお，振込手数料は自己負担とさせていただきます．

問合せ先：東京女子医科大学　中央校舎 3 階　学会室
〒162-8666　東京都新宿区河田町 8-1
Tel・代表　03-3353-8111（内線 22314）
Tel & Fax　03-5269-7403（直通）
E-mail Address　gakkai.bi@twmu.ac.jp
URL　http://www.twmu.ac.jp/gakkai/

第 355 回東京女子医科大学学会例会のご案内ならびに演題募集

第 355 回東京女子医科大学学会例会を下記のとおり開催いたします。一般演題ならびに研修医症例報告への多数のご応募をお待ちしております。

第 355 回東京女子医科大学学会例会

日　時：平成 29 年 2 月 25 日（土）13:00～17:30（予定）
会　場：総合外来センター5 階　大会議室
次　第：1. 平成 28 年度授与式：山川寿子研究奨励賞（第 29 回）、佐竹高子研究奨励賞（第 25 回）、
　　中山恒明研究奨励賞（第 3 回）
　　2. 前年度受賞者研究発表
　　3. 一般演題
　　4. 第 11 回研修医症例報告会

募集要項

○一般演題
〔テ ー マ〕自由
〔発表時間〕口演 7 分，質疑応答 3 分（予定）
〔応募方法〕表題，所属，演者名・共同演者名（フリガナ）を明記した本文 600 字程度の抄録の Word ファイルを、電子メールに添付してご提出ください。
※メール受信後 2～3 日以内に、受領した旨のメールを返信いたしますので、ご確認ください。
※抄録を東京女子医科大学雑誌第 87 巻 1 号（平成 29 年 2 月 25 日発行）に掲載します。
〔応募資格〕演者・共同演者ともに本会会員に限ります。
※会員でない方は後日入会の手続きをしていただきます。

○研修医症例報告
〔テ ー マ〕2～3 科に関連する症例
〔発表時間〕口演 7 分，質疑応答 3 分（予定）
〔応募方法〕表題，所属，発表者名（フリガナ・メールアドレス），指導医名（メールアドレス）を明記した本文 600 字程度の抄録の Word ファイルを、電子メールに添付してご提出ください。
※メール受信後 2～3 日以内に、受領した旨のメールを返信いたしますので、ご確認ください。
※抄録を東京女子医科大学雑誌第 87 巻 1 号（平成 29 年 2 月 25 日発行）に掲載します。
〔応募資格〕本学研修医。年次は問いません。　※研修医以外の連名者（指導医含む）は本会会員であること。

○共通
〔提 出 先〕東京女子医科大学　中央校舎 3 階　学会室
E-mail address　gakkai.bi@twmu.ac.jp／URL　http://www.twmu.ac.jp/gakkai/
〔応募締切〕平成 28 年 10 月 31 日（月）

参　考

○奨励研究（奨励金規定より）
山川寿子研究奨励金
東京女子医科大学医学部教職員で医学の研究に従事し、その研究成果が充分期待できる者（応募当時 41 歳未満）を対象に若干名。
佐竹高子研究奨励金
東京女子医科大学医学部教職員で医学の研究に従事し、これまでの研究成果の水準が高い中堅研究者（大学卒業後 10 年以上）を対象に若干名。
中山恒明研究奨励金
東京女子医科大学医学部教職員のうち研究に従事し、その成果が充分期待できる研究者（大学卒業後 10 年以上でかつ応募当時 50 歳未満）

推薦者は候補者氏名、推薦理由、参考資料を 10 月末日までに東京女子医科大学医学部学務課に提出のこと。

population of squamocolumnar junction cells implication in the pathogenesis of cervical cancer. Proc Natl Acad Sci USA **109**: 10516–10521, 2012
7) **Doorbar J, Quint W, Banks L et al**: The biological and life-cycle of human papillomaviruses. Vaccine **30**: F55–F70, 2012
8) **Garland SM, Sellors JW, Wikstrom A et al**: Imiquimod 5 % cream is a safe and effective self-applied treatment for anogenital warts—results of an open-label, multicentre Phase IIIB trial. Int J STD AIDS **12**: 722–729, 2001
9) **Beutner KR, Spruance SL, Hougham AJ et al**: Treatment of genital warts with an immune-response modifier (imiquimod). J Am Acad Dermatol **38**: 230–239, 1998
10) **Workowski KA, Berman S**: Sexually transmitted disease treatment guideline, 2010. MMWR Recomm Rep **59**: 1–110, 2010
11) **Muñoz N, Kjaer SK, Sigurdsson K et al**: Impact of human papillomavirus (HPV)-6/11/16/18 vaccine on all HPV-associated genital disease in young women. J Natl Cancer Inst **102**: 325–339, 2010
12) **Wheeler CM, Castellsagué X, Garland SM et al**: Cross-protective efficacy of HPV-16/18 AS 04-adjuvant vaccine against cervical infection and precancer caused by non-vaccine oncogenic HPV types: 4-year end-of-study analysis of the randomised, double-blind PATRICIA trial. Lancet Oncol **13**: 100–110, 2012
13) **Donovan B, Franklin N, Guy R et al**: Quadrivalent human papillomavirus vaccination and trends in genital warts in Australia: analysis of national sentinel surveillance data. Lancet Infect Dis **11**: 39–44, 2011
14) **Brotherton JM, Fridman M, May CL et al**: Early effect of the HPV vaccination programme on cervical abnormalities in Victoria, Australia: an ecological study. Lancet **377**: 2085–2092, 2011
15) **U.S. Department of Health and Human Services**: Guideline for the use of antiretroviral agents in HIV-1-infected adults and adolescents. December 1, 2009
16) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 母子感染の疫学調査および女性・小児感染者支援に関する研究」班　平成 24 年度総括・分担研究報告書. 2013
17) **日本エイズ学会/日本臨床検査学会**：診療における HIV-1/2 感染症の診断ガイドライン 2008（日本エイズ学会・日本臨床検査学会標準推奨法）. 日本エイズ学会誌　**11**：70–72, 2009
18) 平成 17 年度厚生労働省エイズ対策研究事業「HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究」班　平成 17 年度研究報告書. 2006
19) **European Collaborative Study**: Mother-to-child transmission of HIV infection in the era of highly active retroviral therapy. Clin Infec Dis **40**: 458–465, 2005
20) **Nduati R, John G, Mbori-Ngacha D et al**: Effect of breastfeeding and formula feeding on transmission of HIV-1: a randomized clinical trial. JAMA **283**: 1167–1174, 2000

感染症—掲載予定—

執筆者	所属	テーマ	掲載号
早野真史	国際環境・熱帯医学	1. 新しい輸入感染症（エボラ，デング熱など）	86 (1)
平井由児	順天堂大学医学部総合診療科	2. 日和見感染（免疫抑制剤など）・院内感染	86 (2)
江川裕人	消化器外科学	3. 移植に対する感染症	86 (3)
橋本和法	産婦人科学	4. 性感染症（HIV，HPV など）	86 (4)
岡部信彦	川崎市健康安全研究所	5. 国・自治体の感染対策	86 (5)
菊池　賢	感染症科	6. まとめ	86 (6)

〔東女医大誌　第86巻　第4号
頁　160～162　平成28年8月〕

学会・研究会抄録

第82回東京女子医科大学学会総会

日時：平成28年9月24日（土）13：00～15：40
会場：東京女子医科大学　弥生記念講堂
共催：文部科学省事業がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

総合司会（副会長）橋本悦子

総　　会　13：00～13：15

挨　　拶　（会長）吉岡俊正
庶務報告　（庶務担当幹事）内田啓子
会計報告　（副会長）橋本悦子

平成28年度吉岡博人記念総合医学研究奨励賞授与式　13：15～13：25

1. 間葉系幹細胞を用いた顔面神経不全麻痺に対する新しい手術療法の開発
（[1]形成外科学，[2]生理学（第一），[3]歯科口腔外科学）
松峯　元[1]・櫻井裕之[1]・宮田麻理子[2]・佐々木亮[3]・伊東　大[1]・尾崎弘展[2]
2. 積極的摘出を施行した神経膠芽腫に関する早期再発例の網羅的遺伝子解析と臨床病理学的検討
（[1]先端生命医科学研究所先端工学外科学，[2]先端生命医科学研究所，[3]脳神経外科学，[4]統合医科学研究所）
郡山峻一[1]・村垣善浩[2]・生田聡子[2]・福井　敦[1]・川俣貴一[3]・
丸山隆志[3]・新田雅之[3]・岡本沙織[3]・三谷昌平[4]・赤川浩之[4]

シンポジウム
「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
『都市型がん医療連携を担う人材の実践的教育』の成果」　13：30～15：40

座長（東京女子医科大学医学部放射線腫瘍学教授・講座主任）唐澤久美子

基調講演　座長　唐澤久美子
1. がん専門放射線治療技師・医学物理士養成の取り組み　（駒澤大学医療健康科学研究科教授）吉川宏起
2. がん看護専門看護師養成の取り組み　（東京女子医科大学看護学部成人看護学教授）飯岡由紀子
3. 小学校高学年へのがん教育―帝京サマースクールについて―
（帝京大学緩和医療学講座教授）有賀悦子
4. 都市型がん医療のニーズを探る―がん患者のサバイバー調査から見えてきたもの―
（帝京大学内科学講座腫瘍内科准教授）渡邊清高
（杏林大学腫瘍内科学講座教授）古瀬純司

雑　報

○編集担当幹事会
日時　平成28年5月2日　17：30～
場所　総合外来センター1階セミナー室
議題　東京女子医科大学雑誌86巻4号査読結果審議，第87巻（平成29年発行）掲載シリーズ「循環系の基礎と臨床」，剽窃チェックオンラインツールiThenticate，メディカルオンラインへの本文PDF収載，今後の本誌発行形態～欧文誌創刊とそれに伴う混合誌から和文誌への変換～，その他～投稿論文を増やすための提案～について

○集会担当幹事会
日時　平成28年6月28日17：30～
場所　E会議室
議題　第32回吉岡弥生記念講演会，平成28年評議員会，第82回総会，第355回例会，第33回吉岡弥生記念講演会，そのほかについて

○第32回吉岡弥生記念講演会（第354回例会）
日時　平成28年5月23日（月）13：00～16：00
場所　弥生記念講堂
次第　平成28年度吉岡弥生研究奨励賞授与式
前年度受賞者研究発表
「弥生先生を語る」
（昭和30年本学卒業生）渥美英子先生
「環境と建築」
（建築家・妹島和世建築設計事務所代表）
妹島和世氏

編集後記

製薬会社が関連した降圧剤に関する一連の医師主導臨床研究の不正により，臨床研究に対する不信と厳しい批判が起こり，厚労省，文科省からも新しいガイドラインが示され，また学内における臨床研究の実施や専門医の更新に倫理に関する講演を受講することが必修化されています．また今秋の臨時国会では臨床研究法の審議も予定されています．また，万能細胞に関する研究では基礎研究への不信を社会に与え，また研究論文のいわゆるcopy and pasteについては，マスコミからの場違いな批判があり，あらぬ誤解を受けた研究者もあったと聞いています．現在剽窃チェックソフトが開発され，本学図書館での導入が決定し，本雑誌でも導入することが決定していますが，剽窃の定義等未解決の問題も多いのが現状です．医師，医学研究者には高い倫理規範が要求されているのは自明ですが，倫理に関する講演会の多くが，プラクティカルな事項がほとんどで，真に大事なのは医師，医学研究者の倫理規範の確立と考えます．医師に関しては医師のプロフェッショナリズムにも関係してくると思われます．“ヒポクラテスの誓い”などがすぐ浮かびますが，多くの倫理規範は西欧の規範であり，本邦における独自の規範が必要との意見もあり，“武士道”，“近江商人道”また“論語”を基礎とするべきだとの意見もあります．これから時間をかけ本邦における医師，医学研究者の倫理規範の確立のための論議が必要になると感じていますが，やはり現在の医学研究者の一般教養の欠如が根本にあるのではないでしょうか．ただ，現在の多くの医科大学のカリキュラムでは人文書に触れる機会がないのは理解できるのですが．

（2016.7，澤田達男）

編集担当幹事：阿部光一郎　青見茂之　江川裕人○　渕之上昌平　萩原誠久　林　和彦
檜垣祐子　平澤恭子　石田英樹　神尾孝子　糟谷英俊　木林和彦
北川一夫　松井英雄　南家由紀　野中　学　斎藤加代子　櫻井裕之
澤田達男◎　篠崎和美　杉原茂孝　玉置　淳　田中淳司　谷口敦夫
徳重克年　内田啓子　内潟安子　山口直人
（ABC順，◎幹事長，○副幹事長）

東京女子医科大学雑誌 86巻4号：平成28年8月25日発行（偶数月発行）
Journal of Tokyo Women's Medical University Vol. 86　No. 4 : August 25, 2016
発行者：吉岡俊正
発行所：東京女子医科大学学会
事務局：〒162-8666　東京都新宿区河田町8-1　東京女子医科大学　中央校舎3階　学会室
Tel & Fax：03-5269-7403/E-mail：gakkai.bi@twmu.ac.jp
購読料：年会費6,000円に含む．1冊定価1,000円（税・送料共）
振込先：（銀行振込）東京女子医科大学学会　会長　吉岡俊正
三菱東京UFJ銀行　東京女子医大出張所　普通3643723
（郵便振替）東京女子医科大学学会　00150-4-4342
印　刷：株式会社杏林舎　〒114-0024　東京都北区西ヶ原3-46-10　Tel：03-3910-4311/Fax：03-3949-0230
広告扱い：日本医学広告社　〒102-0071　東京都千代田区富士見2-12-8
Tel：03-5226-2791/Fax：03-5226-0195

＊本誌の内容を無断で複写・複製すると，著作権・出版権の侵害になりますのでご注意ください．

東京女子医科大学雑誌投稿規定

（平成28年7月改訂）

1. **投稿資格**：投稿は共著者も含め本会会員に限る．ただし，本学に籍のない共著者は会員であるかを問わない．また，準会員のみでは投稿できない．
2. **原稿種類**：
   1）投稿原稿は，原著，総説，報告，抄録，などとする．
   2）依頼原稿は，編集担当幹事会の依頼による総説で，その著者は本会会員に限定しない．掲載料ならびに別刷50部までを無料とする．
   3）抄録は，編集担当幹事会が必要と認めた学術集会の抄録は無料で，その他に関するものは有料で掲載することができる．本会が認定した分科会の場合は刷上り2頁まで無料とする．
   4）いずれも未発表のものに限る．ただし例外として，他誌に発表されたものについて，一定の要件を満たし，編集担当幹事会が認めた場合は二次出版（secondary publication）を認める．要件はホームページ「二次出版に関するお知らせ」参照のこと．
3. **倫理**：平成17年4月1日に施行された個人情報保護法を遵守する．人を対象とした論文は，東京女子医科大学倫理委員会規程ならびに遺伝子解析研究に関する倫理審査委員会規程に則って行われた研究であり，また動物を用いた研究は東京女子医科大学動物実験規程を遵守して行われた研究でなければならない．審査承認を得た場合は，論文内に承認番号などを記載すること．なお，本学以外で行われた研究の場合は，これに準ずるものとする．
4. **著作権・版権**：本誌に採用された場合，著作権は本学会に委譲され，版権は本学会に帰属する．論文の一部もしくは全部を転載するときは，前もって編集担当幹事会の承認を得なければならない．
5. **料金**：掲載料は，和英論文とも刷上り原著・総説は4頁，報告は2頁まで無料，超過1頁につき5,000円とする．別刷は50部単位で表紙に明記し，実費とする．
6. **投稿期日**：随時受け付けるが，偶数月7日を締切とする．
7. **発行日**：年6回偶数月25日とする．
8. **原稿提出**：紙原稿3部，原稿の電子データ（筆頭著者名を明記したCDなど），投稿申込書，チェックシートを提出する．英文論文は英文校閲証明書も提出する．投稿申込書は教授・講座主任または指導者の承認，共著者の同意，著作権の委譲に関して証明したもの．
9. **論文査読**：受付された論文は，編集担当幹事長が決定した査読者によって査読・審査される．査読者は，学位申請予定論文3名，そのほか2名とする．なお，査読者に関わる情報は公表しない．
10. **採否・掲載順**：原稿の採否，掲載順は編集担当幹事会において決定する．受理した原稿は原則として返却しない．
11. **校正**：初校・再校とも著者校正を原則とする．大幅な改変は認めない．
12. **臨時増刊**：依頼により臨時に特別号を発行することができる．費用は依頼者の全額負担とする．
13. **原稿の書き方**：
   1）**書式**：原稿はA4判に横書きとし，上下左右余白・行間を適宜とり，本文1頁目に文字数×行数の設定を明記する．
   2）**用語・単位**：当用漢字，現代かなづかい，半角アラビア数字を用いる．専門用語は学会で統一されたものを用い，略語は初出時に正式用語またはスペルを記載する．度量衡の単位，記号は国際単位系（SI）を原則とする．数字と単位の間は，℃と％を除き，1スペースあける．
   3）**原稿上限**：原著・総説は刷上り10頁（図表含む）程度，図表10点程度とする．報告は刷上り6頁（図表含む）程度，図表5～6点程度とする．
   4）**原稿構成**：原則として，①表紙，②本文（緒言，対象および方法，結果，考察，結論，謝辞，利益相反，文献），③図の表題と説明，④図，⑤表，⑥英文要旨，⑦和文要旨，の順とする．
   5）**表紙**：表題，所属，著者氏名（フリガナ），英文表題，ローマ字著者名（名・姓の順，姓は大文字），英文所属，著者連絡先（氏名，住所，E-mail address）を記載する．
   6）**謝辞**：指導・協力支援への謝意のほか，助成を受けた事実，学会発表の記録も記載する．
   7）**図（写真）・表**：図表およびその説明は，和英論文とも英語表記とする．本文出現順に図表番号を記載し，挿入箇所を本文右余白部に明示する．図はそのまま印刷できる明瞭なものとし，装飾（立体など）しない．図の表題と説明は別紙に一括する．カラー印刷希望の場合はその旨記載する．表は横線のみで構成し，表題・説明を含めたものとする．既刊の図表を転載・引用する場合は，必ず著作権所有者の転載許可を得た上で出典を明示して使用する．
   8）**文献**：本文引用順に文献番号を付け，本文引用部分に肩書きする．2つ以上の引用は「1）～5）」「1）3）6）」と記載する．本文最後に文献番号順に配列したリストを記載する．著者は3名まで記載し，残りは「ほか」「et al」とする．外国人名は姓名の順とする．雑誌名の省略は医学中央雑誌およびMedlineに従う．

   〔雑誌の記載例〕

   1）**川村雅枝，重本六男，森吉百合子ほか**：ラットcysteamine十二指腸潰瘍の発生機序について．東女医大誌　**56**：668-676，1986
   2）**Quimby GF, Bonnice CA, Burnstein SH et al**: Active smoking depresses prostaglandine systhesis in human-gastric mucosa. Ann Intern Med **104**: 616-619, 1986
   3）**Jurgens HA, Johnson RW**: Dysregulated neuronal-microglial cross-talk during aging, stress and inflammation. Exp Neurol 2010, doi: 10.1016/j.expneurol. 2010.11.014, Published online (accessed on Aug 28, 2010)

〔図書の記載例〕

1) **城所良明**：神経筋接合の形成.「筋発生の細胞生物学」(小沢英二郎, 嶋田　裕, 真崎知生編), pp259–282, 学会出版センター, 東京 (1983)

2) **Kahn CR, Roth J**: Insulin receptorsin desease states. *In* Hormone-Receptor Interaction (Levy GS ed), pp1–29, Marcel Dekker, New York (1981)

3) **Bargman JM, Skorecki K**: Part 13. Disorders of the Kidney and Urinary Tract. Chapter 280. Chronic Kidney Disease. *In* Harrison's Online. The McGraw-Hill Companies, New York. http://www.accessmedicine.com/content.aspx?aid=9130075 (accessed on Sep 5, 2011)

9) **要旨**：和英論文とも，和文要旨（本文 800 文字程度），英文要旨（本文 200 words 程度，英単語 5 個以内のキーワード）を添える.

10) **英文校閲**：英文論文は投稿時原稿と査読後修正原稿の①本文，②英文要旨，③図表，④図表の説明について，和文論文は査読受理後原稿の①英文要旨，②図表，③図表の説明について，英文校閲を受けその証明書を提出する．但し，査読者より指摘があった場合はその時点で英文校閲を受けその証明書を提出する.

14. **連絡先**：投稿，編集，印刷に関する問い合わせ等はすべて下記宛とする.

〒162-8666　東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学　中央校舎 3 階　学会室
Tel・代表：03-3353-8111（内線 22314）
Tel & Fax：03-5269-7403（直通）
E-mail address：gakkai.bi@twmu.ac.jp
URL：http://www.twmu.ac.jp/gakkai/

東京女子医科大学雑誌～チェックシート～

平成28年7月

以下の□にすべてチェックが入った状態で投稿してください

提出書類

□紙原稿3部
□原稿の電子データ
　□表紙・本文（倫理審査，利益相反を含む）・文献を「本文」ファイルとする
　□英文要旨を「英文要旨」ファイルとする
　□和文要旨を「和文要旨」ファイルとする
　□図・写真の説明を「図説」ファイルとする
　□図・写真または表を「図」「表」ファイルとする
□投稿申込書
＜原著の場合＞
　□教授・講座主任または指導者の署名
＜英文論文の場合＞
　□英文校閲証明書
□チェックシート（本紙）

原稿書式

□A4判用紙
□上下左右余白・行間を適宜とる
□本文1頁目に文字数×行数を記す
□原稿下部中央にページ番号を付す
□小見出しの番号は、1．→1）→（1）→①の順で使用する
□略称を用いる場合、初出時に定義する
□修飾文字（イタリック，上付き，下付き，プライム等）を指定する
□原稿枚数の上限内である

＜原著と総説の場合＞
　□刷上り頁数（図表含む）10頁
　□図表　10点

＜報告の場合＞
　□刷上り頁数（図表含む）6頁
　□図表　5～6点

表紙

□A4判用紙1枚におさめる

＜和文論文の場合＞
　□原稿の種類　※原著／総説／報告など
　□和文タイトル
　□和文所属
　□著者氏名（フリガナ）
　□英文タイトル
　□ローマ字著者氏名　※名・姓の順，姓は大文字
　□英文所属
　□著者連絡先

＜英文論文の場合＞
　□原稿の種類　※Original／Review／Reportなど
　□英文タイトル
　□ローマ字著者氏名　※名・姓の順，姓は大文字
　□英文所属
　□著者連絡先

本文構成

＜総説の場合＞
　□はじめに　Introduction
　□おわりに　Conclusion
　□謝辞　Acknowledgments
　□利益相反
　□文献　References

＜原著の場合＞
　□緒言　Introduction
　□対象および方法　Materials and Methods
　□結果　Results
　□考察　Discussion
　□結論　Conclusion
　□謝辞　Acknowledgments
　□利益相反
　□文献　References

＜報告の場合＞
　□緒言　Introduction
　□症例　Case Report
　　□患者　Patient
　　□主訴　Chief complaint
　　□既往歴　History of past illness
　　□現病歴　History of present illness
　　□血液生化学検査　Blood gases　など
　□結果　Results
　□考察　Discussion
　□結論　Conclusion
　□謝辞　Acknowledgments
　□利益相反
　□文献　References

（裏へ）

倫理審査
□承認済　※該当する場合は承認を得たことを“対象および方法”に記載してください
□非該当

利益相反　※文献の前に記載してください
＜ない場合＞
□「開示すべき利益相反状態はない。」「The author(s) indicated no conflicts of interest.」などと記載する
＜ある場合＞
□「この研究の○%は×××からの支援により行った。」「About ○% of this study was supported by ×××.」などと記載する

文献
□文献番号は本文引用順とする
□本文引用部分に肩書きする
□著者名は姓・名順とする
□省略を表すピリオドは不要
□雑誌名は略記する
□終頁は省略しない　(例) 正：234-236　誤：234-6
□その他、記述法が正しい
＜雑誌の場合＞
1) 著者名３名＋ほか　または　et al：論文のタイトル. 雑誌名の略記　巻（号）：始頁-終頁, 発行年
＜著書（和文）の場合＞
2) 著者名３名＋ほか：引用章タイトル.「書名」(編集・監修者名), pp 始頁-終頁, 出版社, 出版地（発行年）
＜著書（英文）の場合＞
3) 著者名３名＋et al：引用章タイトル. In 書名（編集・監修者名 ed), pp 始頁-終頁, 出版社, 出版地（発行年）

図（写真）の説明
□タイトルがある
□説明がある
□タイトルおよび説明を英語表記とする

図（写真）
□図・写真中の単語を英語表記とする
□文字サイズ・フォントを考慮して作成する
□本文出現順に図番号を明記する　※写真は図とする
□図表挿入箇所を本文右余白に記す
□希望する印刷法（カラーまたはモノクロ）を明記する
□手札サイズの写真はA4判用紙に貼る（四隅のみ糊付け）
□同じ図番号の場合は出来るだけ同じ用紙におさめる
□カラー印刷希望の場合は出来るだけ１頁におさめる　※出来上り１頁60,000円
＜転載の場合＞
□転載許諾を得る　※転載許諾書をご提出ください
□出典元情報を明記する

表
□タイトルがある
□説明がある
□表中の単語、タイトルおよび説明を英語表記とする
□図表挿入箇所を本文右余白に記す
□横線のみで構成する

英文要旨
□A4判用紙１枚におさめる
□英文タイトル
□ローマ字著者氏名　※名・姓の順, 姓は大文字
□英文所属
□本文200 words程度
□Key Words（英単語５個以内）

和文要旨
□A4判用紙１枚におさめる
□和文タイトル
□和文所属
□著者氏名（フリガナ）
□本文800文字程度

署名

東京女子医科大学学会／中央校舎３階 学会室（内線 22314）

平成25年9月

投稿申込書

平成　　年　　月　　日

東京女子医科大学学会 編集担当幹事長 殿

下記論文を貴誌に投稿いたします。この論文は他誌に未発表であり、また投稿中でもありません。採用された場合には、この論文の著作権を東京女子医科大学学会に委譲すること、当学会と契約を交わしたWebサイトへ全文または要旨を収載することに同意いたします。

なお、本論文の内容に関しては、著者（ら）が一切の責任を負います。

署　名	

論文表題	

署　　名	著者全員の署名が必要です。欄が足りない場合はコピーして2枚提出して下さい。			
	①	年　月　日	②	年　月　日
	③	年　月　日	④	年　月　日
	⑤	年　月　日	⑥	年　月　日

原稿種類	□に✓または×を入れて下さい。
	□原著（□学位申請論文）　□総説　□報告　□ほか（　　）

推　　薦	原著・学位申請論文の場合、主任教授または指導者の署名が必要です。		
署名		所属	

連 絡 先	□医局・教室　□出張先　□自宅				
氏名		所属			
住所	〒				
Tel		Fax		E-mail Address	

請求書宛名	□筆頭著者名　□医局・教室名　□ほか（　　）

請求書送付先	□医局・教室　□出張先　□自宅		
氏名		所属	
住所	〒		

利益相反	□なし　□あり
IR※登録	□同意しない

※IR とは「東京女子医科大学学術リポジトリ Twinkle」（http://ir.twmu.ac.jp/dspace/）のこと。
IR には全文を登録します。
☑のない場合は同意していただいたものといたします。

学会室記入欄：
論文受付日　　年　月　日
論文受理日　　年　月　日
受付番号



オレキシン受容体拮抗薬－不眠症治療薬－

ベルソムラ®錠 15mg 20mg

スボレキサント錠

Belsomra®

習慣性医薬品（注意－習慣性あり）
処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等の詳細につきましては添付文書をご参照ください。

MSD

製造販売元［資料請求先］
MSD株式会社
〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
http://www.msd.co.jp/
【MSDカスタマーサポートセンター】
医療関係者の方：フリーダイヤル　0120-024-961
〈受付時間〉9:00-17:30（土日祝日・当社休日を除く）

BEL15AD090-0720



学術に関することは、お任せください。

わたしたちは60年前より学協会様とともに学術に携わってきました。
学術誌の制作・印刷から始まり、学協会様のニーズとともにサービスの幅を広げ、時代とともに成長し、日本医師会雑誌、日本内科学会雑誌を始め60以上もの学術ジャーナル出版のお手伝いをさせていただいているのは、誇りでもあり自信でもあります。また、情報発信のサポートとして行なっているホームページの制作・運営サービスも120サイトを超え、ご好評を頂いています。お客様の声から生まれた数多くのサービス、そこから得たノウハウは、きっとみなさまのお役にも立てるはずです。

学術ジャーナル

- 編集事務支援（オンライン投稿・査読システム）
- 各種オンラインジャーナルへの公開対応
- 電子書籍サービス　●XML・ePUB作成
- 印刷・少部数印刷対応
- 制作・装丁・レイアウトデザイン

学術集会・イベント

- 学術集会・イベント運営サポート
  （庶務・財務、広報、演題登録業務、当日運営サポート）
- 抄録データ管理・情報処理・編集
- プログラム集・抄録集制作・印刷
- 各種デザイン
  （ロゴ、ポスター、ホームページ、印刷物全般、ノベルティ他）
- 学術集会用演題検索システム（Web・アプリ）

学会ホームページ

- 企画・設計　●デザイン・制作
- 更新・運営管理　●サーバーホスティング
- メール配信　●Webアプリ・システム開発

学会事務支援

- 会員管理　●会費管理　●庶務業務　●会計業務
- 資格認定試験運営　●アンケート集計・管理

オンライン投稿・査読システム

SCHOLARONE MANUSCRIPTS
オンライン投稿・査読システム

世界6,000誌以上のジャーナルで採用されているThomson Reuters社の国内代理店です。

電子書籍サービス

学術専門 電子書籍サービス
KaLib
Kyorinsha Academic Library

学会誌やガイドライン等、学術研究に特化した「学術専門の電子書籍サービス」です。

会員管理システム

学協会様向け 会員管理システム
KaMsys カムシス 無償版

学協会サポートで積み上げてきたノウハウを詰め込んだ会員管理システムの無償版です。

演題検索システム

学術集会用演題検索システム
Kcon-navi コンナビ
Kyorinsha Congress Navigation

PC・スマートフォンで、演題・セッションの検索や、参加プログラムの登録ができるサービスです。

オンラインPDF校正システム

学術ジャーナル出版に最適
オンラインPDF校正＋進捗管理システム
Kops
Kyorinsha Online Proof System

コスト削減、スピードアップ…、学術ジャーナルならではの「著者校正」に強いサービスです。

オンラインストア

学術に関わる道具いろいろ
KaLib Store

学術に関わる書籍やアイテムを、インターネットを介して販売するオンラインストアです。

201604

株式会社 杏林舎
http://www.kyorin.co.jp/
〒114-0024 東京都北区西ヶ原 3-46-10
TEL 03-3910-4311　E-mail sales@kyorin.co.jp
杏林舎　検索



喘息治療配合剤 処方せん医薬品注)　薬価基準収載

フルティフォーム®

50エアゾール56吸入用・120吸入用　125エアゾール56吸入用・120吸入用

Flutiform® Aerosol

フルチカゾンプロピオン酸エステル／ホルモテロールフマル酸塩水和物吸入剤

注)注意－医師等の処方せんにより使用すること

効能・効果、用法・用量、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意等については添付文書等をご参照下さい。

新しい喘息治療配合剤フルティフォームのすべてがわかる医療従事者向けWebサイト「フルティフォーム.jp」をご覧ください。

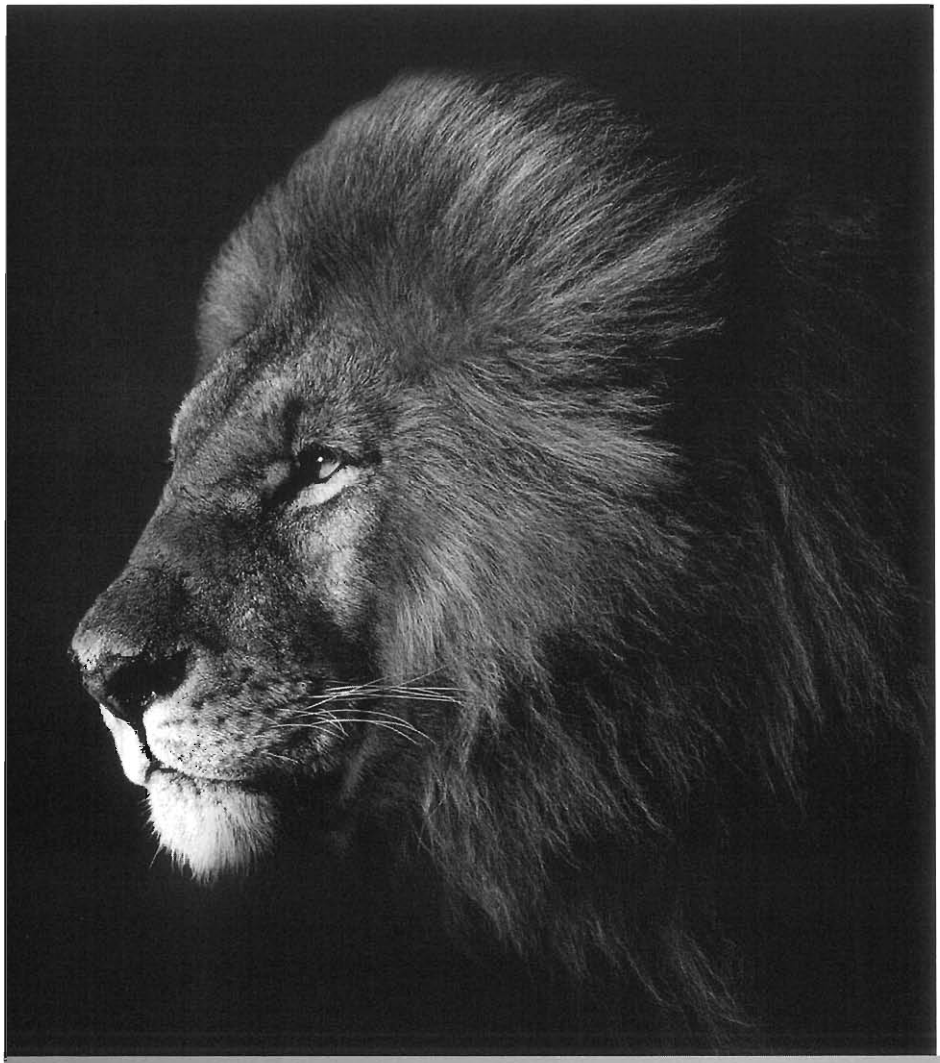
http://www.flutiform.jp

杏林製薬株式会社

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

〈資料請求先:くすり情報センター〉

作成年月:2014.12



gsk

新発売

5α還元酵素1型/2型阻害薬　男性型脱毛症治療薬

劇薬　処方箋医薬品(注意－医師等の処方箋により使用すること)　薬価基準未収載

ザガーロ®カプセル 0.1mg 0.5mg

ZAGALLO® Capsules デュタステリドカプセル

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒151-8566　東京都渋谷区千駄ヶ谷 4－6－15

グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先

TEL：0120-561-007(9:00～18:00／土日祝日及び当社休業日を除く)

FAX：0120-561-047(24時間受付)

作成年月 2016年6月

骨粗鬆症治療剤（活性型ビタミンD3製剤）
劇薬　処方箋医薬品注）

薬価基準収載

エディロール®カプセル 0.5μg 0.75μg

EDIROL®

エルデカルシトールカプセル

注）注意－医師等の処方箋により使用すること

®中外製薬株式会社登録商標

※「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」等詳細については、添付文書をご参照ください。



製造販売元　〔資料請求先〕
中外製薬株式会社
〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1
Roche ロシュ グループ

発売［資料請求先］
大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1

2015年2月作成

選択的直接作用型第Xa因子阻害剤

イグザレルト®錠 10mg 15mg
細粒分包 10mg 15mg

Xarelto®（リバーロキサバン）
処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

効能・効果追加
深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症の治療及び再発抑制

剤形追加新発売
細粒

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

資料請求先
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
http://www.bayer.co.jp/byl

2015年12月作成

NOVARTIS
PHARMACEUTICALS



免疫抑制剤（mTOR阻害剤）　薬価基準収載
サーティカン®錠 0.25mg 0.5mg 0.75mg
劇薬 処方箋医薬品　注意－医師等の処方箋により使用すること
CERTICAN®　エベロリムス錠
サーティカンホームページ　http://www.certican.jp

薬価基準収載
急性拒絶反応抑制剤（抗CD25モノクローナル抗体）
シムレクト® 静注用20mg
シムレクト® 小児用静注用10mg
生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品
注意－医師等の処方箋により使用すること
SIMULECT®　バシリキシマブ（遺伝子組換え）静注用
シムレクトホームページ　http://www.simulect.jp

免疫抑制剤（カルシニューリンインヒビター）　薬価基準収載
ネオーラル® 10・25・50mgカプセル
内用液10%
劇薬 処方箋医薬品　注意－医師等の処方箋により使用すること
Neoral®　シクロスポリン製剤
ネオーラルホームページ　http://www.neoral.jp

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、製品添付文書をご参照ください。

製造販売
ノバルティス ファーマ株式会社
東京都港区虎ノ門1-23-1 〒105-6333

〈資料請求先〉
NOVARTIS DIRECT
0120-003-293
受付時間：月～金 9：00～17：30
（祝祭日及び当社休日を除く）
www.novartis.co.jp

2015年2月作成

平成二十八年八月二十五日発行（偶数月二十五日発行）
東京女子医科大学雑誌　86巻　4号
発行所　東京女子医科大学学会